

一般社団法人戸田市薬剤師会 議事録

記録日	R1.11.12
記録者	芹澤

日時	R1.11.12 13:00~15:00	出席者	染川、野口、武長、伊藤、芹澤
場所	戸田市文化会館 302 会議室		

議 題

1. 会長報告
2. 副会長・委員会報告
3. 各理事・委員会報告
4. その他

会議内容

1. 会長報告

●県薬学術大会に出席。近年は薬局、薬剤師を取り巻く環状も変わってきており、内容も学術(薬学)的なものから薬剤師の立ち位置や役割と言った内容の講演になっている。

●第7次埼玉県保健医療計画の重点7科目のうち下記5科目について薬剤師会として取り組む。この内容については委員会で割り振るのではなく、薬剤師会として取り組む必要があり、総会の報告事項としたい。

- ・がん医療
- ・感染症対策
- ・災害時医療
- ・在宅医療の推進
- ・医薬品等の安全対策

2. 副会長・委員会報告

武長副会長より

●学校薬剤師 10-11月はダニ、照度の検査実施。また、台風の災害時多くの学校が避難所になったが、学校(避難所)の衛生管理について考えていきたい。12/5は学薬忘年会(費用は毎年会からの支出無し)。

●戸田市健康福祉の杜祭りの市民からの質問内容や良かった点、改善点についてプロジェクトチームに指示し、まとめた。

【良かった点】

- ・受付の机を無くすことにより、スムーズに案内できた。
- ・アンケート(クイズ)を行うことで、より話しかけやすくなった。
- ・アンケートを行うことでブース内に入ってもらいやすくなった。
- ・ボールペン及びゴム景品の評判が良かった。

- ・演題を2つにしたことで、時間的に余裕があった。
- ・ミニ講演会を館内放送で案内したのはよかった。
- ・薬剤師会HPに健康祭りの案内がでていて良かった。
- ・パネルを無くしたことで、スペースに余裕ができた。

【改善点】

- ・アンケートを大人・子供同一のものを使用したけど、字が小さかったことと、ひらがなで表示しても良かったのでは。
- ・お薬相談コーナーを奥に配置し、ホワイトボードで仕切ったのは良かったけど、窮屈な感じと、エアコンの風が届かず、気温が上昇してしまっていたそう。自分もそうだが、前のところで相談を開始してしまい、相談コーナーを有効に利用できなかった。
配置やパーテーションの有無について要検討と思われる。
- ・薬剤師の手荷物について、今回ボードで隠したが、完全に見えなくするのが良いと思う。
- ・今回、薬物乱用のお渡しする物があったため、外で話しかけやすく、チラシもスムーズにお渡しできたけど、来年はそれが無い場合、どのようにチラシを渡していくか。
(チラシだけお渡しするのがキツイと意見あり、今回はボールペンやゴム景品を持って行って話しかけていたそう)
- ・チラシとアンケートを一つにまとめ、外でアンケートを渡し、「記入したらブースに持ってきてください」と伝えて、ブースに来てもらってから景品を渡すのはどうかと意見あり。
- ・前日までにグループ分け・やる事を教えてもらえると、当日もっとスムーズに動くことができるのではないかな。
- ・相談内容を記載する紙と治療薬の書籍などの忘れもの。

お薬クイズ件数;139件

内アンケートあり件数45件

お薬相談件数;17件

<アンケート内容;お薬で困ったことはありますか?>

- ・子供が薬を飲めない(理由は苦い、量が多いなど)多数。
- ・(朝や寝る前という意見あり)薬を飲み忘れる。
- ・薬に消費期限はありますか?
- ・片頭痛持ちでロキソニンの飲むのですが、吐き気がする。
- ・痛みの種類によって薬の効く効かないがある。
- ・血圧の薬をやめたところ上がってきたので心配。
- ・食前の薬など、飲み忘れがある。
- ・食間いつ?
- ・睡眠薬で朝眠い。しかし飲まないと眠れない。
- ・飲み合わせが分からない。薬剤師さんの説明が雑で不安になることが多々ある...
- ・カプセルが大きくてのどに引っ掛かり大変なことがあった。
- ・錠剤が大きくて飲みづらい。

- 複数の薬を一つにまとめられるか？
- 統合失調症の薬を減らしたい。
- 1錠ずつしかのどを通らず水をたくさん飲んでしまう。
- お薬を飲み忘れてたりしてたまってしまう。ブラウンバックの中に入れて放置。
- 薬を飲んだか飲んでないのか忘れるときがある。
- 血液サラサラの薬はのんでどれくらい効果があるのですか？

<お薬相談17件の内訳>

- 血圧の変動、血圧計の違いなど
- 残薬、飲み忘れ、
- 薬の期限
- 窓口支払(時間によって金額が違う、GEにするとどのくらいやすくなるのか等)
- たくさんの薬を一つにまとめられるか
- 減薬の相談
- 個々の病状と薬剤の効果、副作用について
- GEが合わないと感じた時の対応

野口副会長より

- 医療・介護連携ネットワークにて「在宅緩和ケア充実支援事業」始まる。
- おかわりの会第1回研修会立ち見が出るほどの大盛況で終了した旨を報告。書面にて染川会長あてに「共催・協賛事業報告書」頂いた。

<危機管理委員会>

- 埼玉県薬剤師会で、薬剤師の防災リーダー研修が11月と1月(どちらか受講で良い)に行われる。出席予定。

<在宅委員会>

- 戸田中央総合HPでの緩和ケア公開研修について
- MCSが薬剤師に広がっていない。他職種でやり取りすることも可能であり、薬剤師内のグループを作ってラインの様に使用する事できる。一度全会員に案内したい。
- 在宅医療において、特に麻薬関係の質問が想定されるが、対応薬局がまず対応しそこでわからなかったら薬剤師会の在宅委員会へ問い合わせる。外部からの検索等の問い合わせに対しては、オフィシャルな情報として「医療情報システム」を参照してもらう。
- HPに在宅窓口の作成を広報委員会に要請。

<学校薬剤師会の在り方>

- 幼稚園、高校の取扱い。小学校、中学校は市から当会を通じて委嘱されており薬剤師個別ではなく、当会と市の学務課との関係性で行っている。以前(H29年)に何度か幼稚園、高校の扱いを会として行うのか、個人で行うのか議論したところであるが、もう一度しっかり取り決めをしたい。会として取り組むのであれば、小中学校と同様会員外の先生にも薬剤師会に入ってもらって、窓口(市か県か)との対応も会が行うこととなる。
- 議論の後、全会一致で武長学校薬剤師委員長、成塚先生、佐藤先生の3名で、個人でやるのか、

会としてやるのかを話し合っ
て結論を出すことに賛成した。
高校に関してはいままで通り
県から個人へ。

各理事委員会報告

伊藤理事より

<保険薬局委員会>

●戸田中央総合病院薬剤科と来年2月のポリファーマシーの勉強会の共催に向けて、学術委員長の鎌田先生を交えて会議を行う予定。

<学術研修委員会>

●学術研修委員会としては今年度に講演会を3回予定。

11/28 戸田中央総合病院 内科 西條 天基先生

「ドライバー遺伝子陽性肺がんの個別化治療」

12/9 医療法人社団 翠会ヘルスケアグループ 精神医学研究所副所長 後藤 恵先生

「依存症にさせない睡眠薬処方
の工夫」

2月 ポリファーマシーグループワーク

<薬学生実務実習委員会；佐貫理事より代弁>

●今年度3期無事終了しました。ただし、スズケンの物流の研修は中止になりました。今回だけなのかこれからも対応不可なのか追って調査致します。

芹澤総務委員長より

●会員の先生から選挙の開示について選挙後から問い合わせが来ていた関係で、開示するにあたりルールが当会にない。これに対し野口副会長より、「選挙に関わらず会に関係していることは基本的に開示すべきである。開示を請求される先生から文書で頂き、それに対して文書で答えるべきだ。」との発言あり。全会一致で承認された。

●次回の役員選挙に対し、選挙資料の保存年数の記載、立候補推薦の別を記載することでよりわかりやすくクリーンな選挙を行うこととする。

決定事項

- 第7次埼玉県保健医療計画の参画と総会での報告。
- 学校薬剤師の幼稚園の取扱いを会員の担当者3名での話し合いによって決める。
- 次回役員選挙に関し、選挙資料の保存年数の記載、立候補推薦の別を記載する。

検討事項

- 会営薬局開設に向けて行政との継続交渉。
- 学校薬剤師委員会組織と規約、新人の発掘育成。
- 戸田中央総合病院薬剤科との薬薬連携の深化。
- 蕨市薬剤師会との連携。
- 戸田市行政との連携。市民に見える活動。危機管理の継続協議。

- 実習生の参加できる薬剤師会事業。
- デットストックの会員薬局間の取引。
- 来年6月からの会議及び総会の場所の確保。
-